

令和 4 年度 地域福祉活動支援事業 ホームページ用報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、助成事業の概要を簡潔に記入してください。

※必要事項を記入または☑ 1 ページ以内に収まるよう作成

団体名	寄合所オレンジカフェもりや亭		
団体の属性	<input type="checkbox"/> セルフヘルプグループ・当事者等		◎ボランティアグループ等
	<input type="checkbox"/> 市町村社協やそれを構成員とする実行委員会等		
助成区分	<input checked="" type="checkbox"/> 一般助成	<input type="checkbox"/> 協働モデル助成	協働モデル助成 本会提示テーマ
助成事業名	「さみしいをなくそう」心の交流会		
事業の目的	寄合所に来るお一人暮らしの方々と交流を持ち、寂しい気持ちを解消し困り事の相談にのる		
事業概要	<p>令和四年度の事業として、12名の講師をお招きし、それぞれに、日頃活躍している活動を披露して頂きました。</p> <p>講師陣は厚木市や愛川町、近隣地区、また国立市や国分寺市からも参加して頂きました。地域の方とふれあい、会話して、さらに体験をさせて頂き、心の交流ができました。</p> <p>① 蜂蜜ができるまで ②大人にもいい絵本 ③動画を撮って編集 ④寄席文字実演 ⑤神楽の歴史 ⑥江戸伝統演芸かつぼれぎつちゅんちゅん ⑦腹話術 ⑧蜂蜜分離体験 ⑨ハンドベル体験 ⑩神楽扇子体験 ⑪地元言葉で桃太郎読む ⑫ハーブ演奏体験</p> <p>例えば、相模里神楽の家元をお呼びした会では、伝統文化の深い話を聞き、普段では触ることのできない獅子頭を実際にかぶらせて、舞い方を教えて頂き、参加者一同、とても楽しく有意義な体験ができました。</p> <p>また、参加者は、ほぼ高齢者、そして、一人暮らしの方が多く、もりや亭で、出会ったことで、「顔見知りになりましょう」という、もりや亭の提案に皆さん賛同され、スーパーなど、買い物時に、「もりや亭であいましたね～」と、声を掛け合いました、ということに。</p> <p>「困った事や怖いめに、あってませんか?」と話を聞き 少しの声かけや気遣いが、さみしさを無くし、孤立を解消し、集まる人々の笑顔につながりました。</p> <p>寄合所の隣の席に座った知らない者どうしで、声をかけ合う。 そのことが、それぞれ、個人がボランティア活動をしている、という事につながる、と説明しました。 今後も声かけボランティアを実践してください、とお願いしました。</p>		
成果や課題	今回の助成制度を使わせて頂き、普段、会うことのできない方々(講師、演者)とふれあい、より広い輪が広がりました。地域のふれあいの場所、居場所はとても重要で、存続しなければならないと実感しました。		
今後の展望	もりや亭をより、知ってもらい、気軽に足を運べる、居場所を続ける事で、今後も発見しにくい認知症高齢者を早期発見し、支援センターと連携をとり介護に繋がる事が望ましい		
活動の様子が分かる画像 2枚程度添付	<p>腹話術 10/21</p> 	<p>2023/1/20(金) みずぎさんの 神楽講座</p> <p>扇子の持ち方 まわし方</p>  <p>権現様の ごんちゃん 触らせて～ かぶらせて</p> <p>神奈川県社協 ともしび基金による 勉強会 もりや亭主催</p> <p>PIC-COLLAGE</p>	